

使ったところが強くなる ～失敗を恐れず挑戦しよう～

最近学校に、いろいろな高校や高等専門学校から「生徒募集要項」や「入学案内」などの資料や書類が頻繁に届いています。入学試験の日程や受験前に提出する書類などが入っています。これは、『そろそろ、受験をする準備をしてください。』というお知らせです。数か月先に迫った進路の決定に向けて、3年生はいよいよ本気になって取り組んでくれることでしょう。1・2年生も「まだまだ先のこと」と考えず、1年後・2年後の自分の姿を考えていくことが大切です。

秋はスポーツの季節ともいわれます。先日、水泳の日本学生選手権（インカレ）のようすがニュース番組で放送されていました。長い闘病生活を乗り越え、見事レースに復帰し、しかも入賞を果たした池江璃花子選手が力強く競技する姿には感動しましたね。

スポーツ選手、中でも水泳選手は、実に無駄のない体つきをしていますね。泳ぐために必要な部分が鍛えられているわけです。つまり、使った部分が強くなっているということなのです。当然、その反対に、使わなかったところは弱くなるということです。これは、肉体だけではありません。



さて、私たち人間の使わないところは何でしょう。弱いところはどこでしょう。それは、何もしないで楽な生活ができれば、それが一番いいと考えることや、わざわざ面倒なことをしなくてもいいじゃないかと思うことではないでしょうか。できることなら、面倒なことや苦しいことをしないで楽をして生きたいと思ってしまうことではないでしょうか。

ところが、世の中は、楽なこと、楽しいことばかりではありません。むしろ、辛いことやおもしろくないこと、しんどいことの方が多なのが現実で、なかなか自分の思うとおりにはいかないことが多いのが人生です。そのような社会の中で、よりよく、たくましく生きていくためには、どうしたらいいでしょうか。

失敗から逃げない→失敗に負けない力→更に高いところを目指す力



いろいろな考え方があると思いますが、一つには、失敗したとき、負けたとき、恥をかいたときに、それに負けない人間になることです。人間の真価は、上手くいかないとき、負けたとき、恥をかいたときに問われます。負けたとき、その現実から逃げるか、立ち向かうかです。恥をかく、恥ずかしい経験をしたとき、もう二度とするものとするか、逃げずにもう一度チャレンジしてみようか考えるかです。

恥ずかしいから、負けるから、失敗するからといって、それを避けたり何もしないでいたりすると、本当に苦しい場面に出会ったとき、それに立ち向かうことはできません。もちろん乗り越えることはできません。その時は失敗しても、恥ずかしくても、逃げ出さず、困難を乗り越えようと挑戦していく、そんなたくましい人間に成長するために、今のうちに、失敗を恐れず、何にでもチャレンジする経験をたくさん積み、さらに高いところが目指せる力を身に付けてもらいたいと思います。



